

アクセシブルライブラリー

視覚障害者の読書体験をアクセシブルに

2022年5月18日

株式会社メディアドゥ
取締役副社長COO 新名 新

電子図書館事業推進センター
センター長 林 剛史



はじめに

本サービスは、視覚障害者を対象とし
公共図書館を通じて
電子書籍を音声自動読み上げで提供する
サブスクリプションサービスです

将来的には視覚障害者以外の方々にも
サービス提供を広げていきたい

本構想の背景

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」
(いわゆる読書バリアフリー法)
が2019年6月28日に施行

- アクセシブルな書籍、電子書籍などの量的拡充、質の向上を図ること
- 国や地方公共団体に対応の責務
- 出版者からアクセシブルな書籍制作者へのテキストデータの提供、出版者から書籍購入者へのテキストデータ提供促進

出版業界の不安

- 今後アクセシビリティに対する出版者の義務はどこまで拡大されるのか
- 欧州ではかなり厳しい義務が課されていると聞いた
- 過去の膨大な作品まで対応するのか
- テキストデータをDRM無しで渡すのか
- 国や地方公共団体がやればいいことでは
- 図書館でのタダ読みをまた増やすのか

出版の社会性

- 出版業が社会的に一目置かれているのはなぜ？
- 出版物について再販制が認められているのはなぜ？
- 斜陽と言われる出版に人材が集まるのはなぜ？

おもしろくて、ためになる
花開く種子をまくという仕事が発行
明文化された社是や社訓を持ちません
ひとつでも多くのコンテンツを一人でも多くの人へ

出版業界での対応は可能

- すでに多くの音声自動読み上げ可能な電子書籍が存在する
(約27万点、毎月2千点増加)
- 音声自動読み上げ、スマホのアクセシビリティ、視覚障害者向けのUIなど、技術もかなり進化してきている
- 視覚障害者のみなさんや著作権者との対話も進んで来ている
- 将来にわたって継続可能なビジネスモデルも構築できている

出版業界自らの手で
読書のアクセシビリティを実現したい
と考えます

日本全国に
視覚障害者手帳をお持ちの方は
どのくらいいますか？

約30万人

**平均して
人口の0.24%**

厚生労働省データ参照

■これまでの読書環境

└点字図書 音声データ

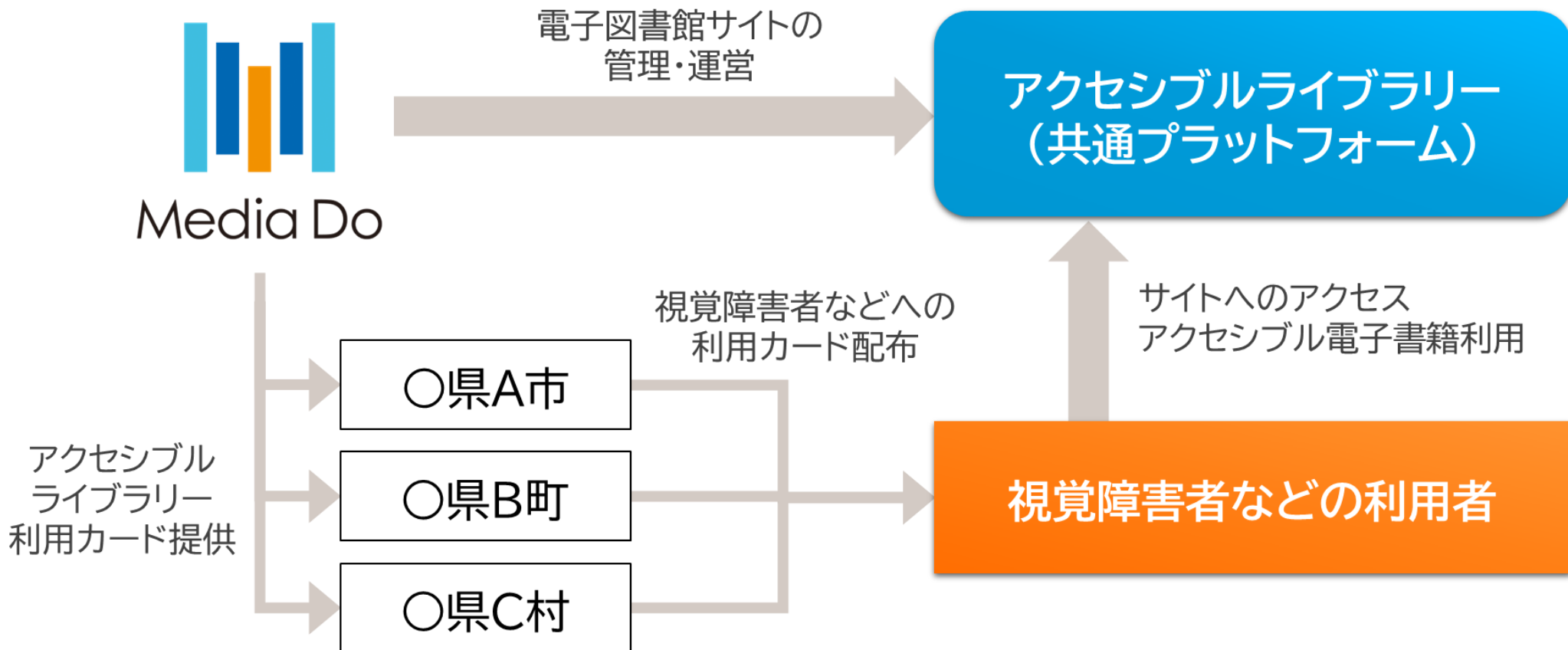
図書館利用では…

⇒点字図書館 サピエ図書館 など

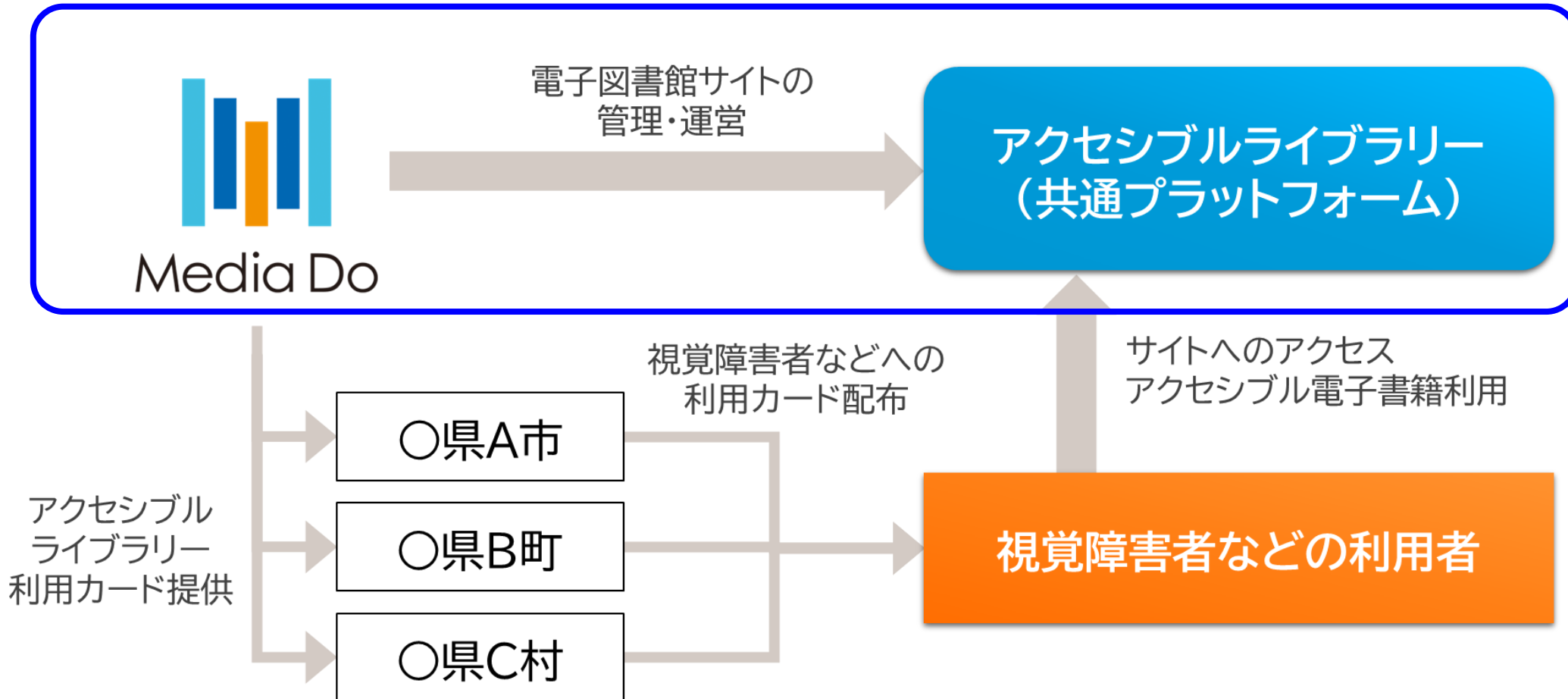
選択肢を増やすことを目的として
アクセシブルライブラリーを開発

アクセシブルライブラリー サービス説明

全体概要



サービスサイトについて



1. サービスサイトについて

アクセシブルライブラリー



アクセシブルライブラリーホーム お知らせ

お知らせはありません。

[お知らせ一覧を見る](#)

メニューリンク

- [管理画面](#)
- [新着書籍](#)
- [書籍検索](#)
- [マイリスト](#)
- [パスワード変更](#)
- [アクセシブルライブラリーとは](#)
- [アクセシブルライブラリーの使い方](#)
- [よくある質問とその回答](#)
- [ウェブアクセシビリティについて](#)
- [利用可能図書館](#)
- [プライバシーポリシー & 利用規約](#)
- [お問い合わせ](#)
- [ログアウト](#)

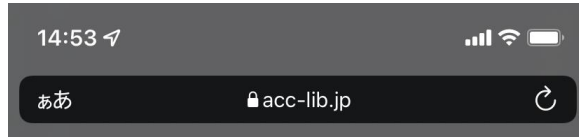
[ホームへ戻る](#)

- ・メディアドウが運営
- ・視覚障害者のエンジニアなどの協力を得て開発

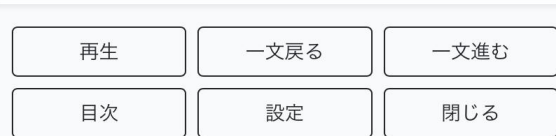
<特徴>

- ・テキスト構成
- ・全ページに
JIS規格試験を実施
JIS8341-3 2016 AA準拠
- ・iPhone、Androidスクリーンリーダー機能で読み上げ可能

2. リーダーについて



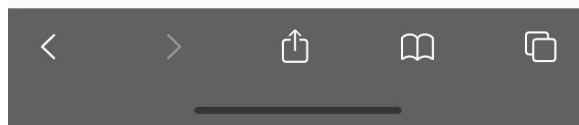
ACCEL リーダー
 よだかの星

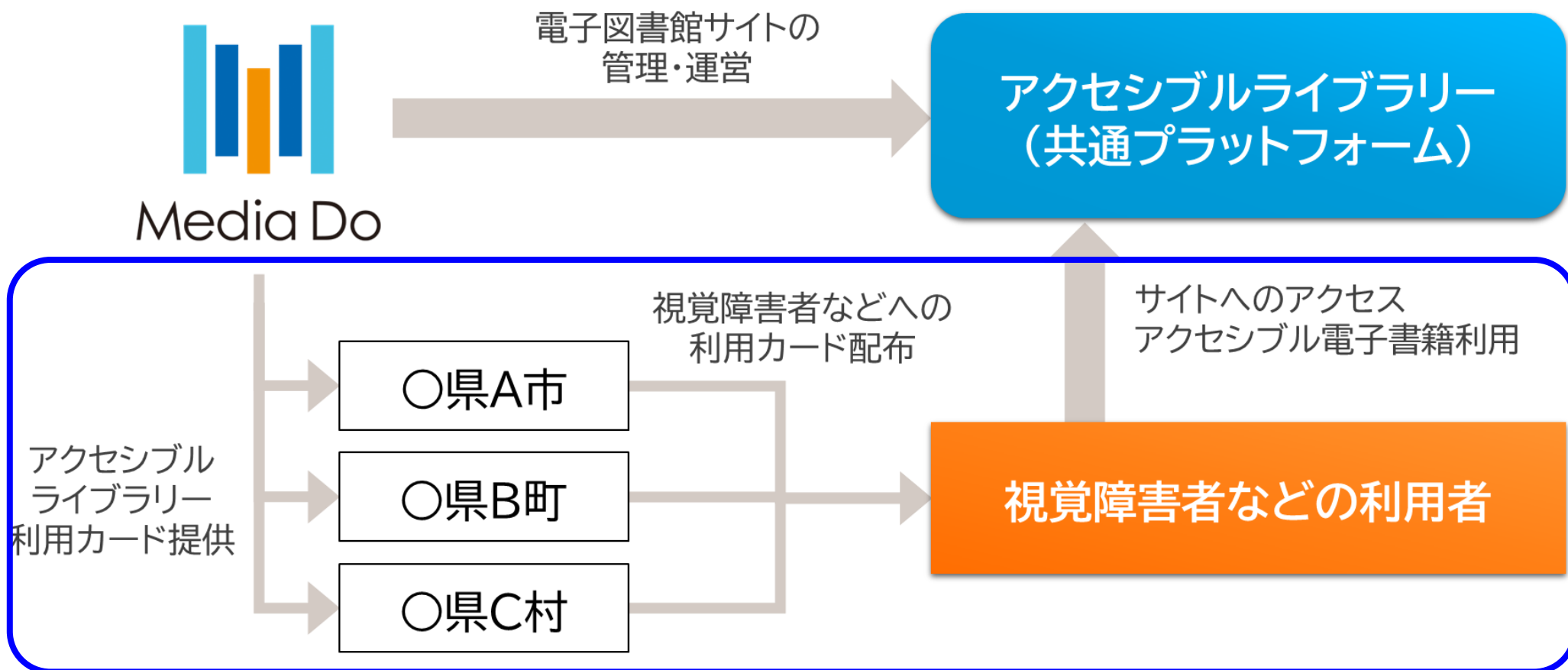


現在の章：よだかの星

よだかは、実にみにくい鳥です。
 顔は、ところどころ、味噌をつけたように
 まだらで、くちばしは、ひらたくて、耳まで
 さけています。
 足は、まるでよぼよぼで、一間とも歩けま
 せん。
 ほかの鳥は、もう、よだかの顔を見ただけ
 でも、いやになってしまうという工合でし
 た。
 たとえば、ひばりも、あまり美しい鳥では
 ありませんが、よだかよりは、ずっと上だと思
 っていましたので、夕方など、よだかにあ
 うと、さもさもいやそうに、しんねりと目を
 つぶりながら、首をそっ方へ向けるのでし

- 高速再生で聞こえやすい音声合成
オーディオブックの高速再生では消えてしま
う音が消えないように
- 音声速度を複数種類に変更可能
- 男性音声、女性音声、高音低音など
複数種類の選択肢を用意





運用管理について

3. 運用管理について

<作品管理>

- ・一元管理のため、自治体/自治体運営図書館にサービス運営負担がない

<自治体/図書館の運用>

- ・カードの提供
↳ 視覚障害者手帳をお持ちの方に
“アクセシブルライブラリーカード”
を渡していただく



アクセシブルライブラリーカード

4. サイト利用デモンストレーション

全盲の視覚障害者の方がサイトを操作します

1. アクセシブルライブラリーカード読み込み

2. サービスログイン

3. 書籍検索

4. 書籍を再生

5. 速度を変更

6. 音声種類を変更

・スマートフォンのアクセシビリティ機能を使って、機能読み上げ

・カードに切り込みがあり、QRコードを検知

5. 提供する出版物について

- ・ 著者と出版社に許諾をいただいたものに限る
- ・ EPUBリフローファイル *リフローファイル/テキスト情報が含まれたEPUBファイル
- ・ メディアドウにお預けいただいているファイルはそのまま利用可能です
別途、新たに本サービスのためのファイルをお預けいただくことも可能です

出版社にお手間をかけない仕組みです

6. ビジネスモデルについて

持続可能、継続可能な事業とするため

自治体から利用料をいただきます

6. ビジネスモデルについて

- サブスクリプションモデル
- 自治体の人口比による料金設定

人口規模	アクセシブルライブラリー 単体導入費(単月)※税抜
～10,000人	¥5,000
10,001～30,000人	¥10,000
30,001～50,000人	¥20,000
50,001～100,000人	¥30,000
100,001～500,000人	¥50,000
500,001～1,000,000人	¥70,000
1,000,001人～	¥100,000

6. ビジネスモデルについて

出版社へは
売上の**30%**をお支払いします

この数字は、システムの維持・運営費、開発費、
今後の追加開発費などを考え、
"持続可能"な事業計画であることを前提にして
設定いたしました

2021年12月

JPO主催 読書バリアフリー法セミナー

日本書籍出版協会理事長 小野寺様(河出書房新社)が
「音声自動読み上げを著者と出版社が許諾すること」
を呼び掛けていらっしゃいました

**ぜひ、著作権者のご承諾をいただき
「アクセシブルライブラリー」に出版物を
ご提供いただきたいと思います**